

ブラームス 年表 (管弦楽曲を中心に)



17歳ごろ



20歳



21歳



28歳



47歳



56歳



ヨハン・シュトラウスと 60歳



ブラームス墓

西暦(年齢)	主要作品とその背景
1833年(0歳)	5月7日 ハンブルグに生まれる ロシア五人組の1人ボロディンもこの年に生まれている。
1853年(20歳)	デュッセルドルフでシューマン夫妻と出会い、才能ある若手作曲家として認められる。シューマンの妻クララとは1854年のシューマンの投身自殺未遂と2年後の死以降も、親しく交流を続け、ブラームスの多く曲の試演はしばしばクララとの2台ピアノで行われた。
1857年(24歳)	セレナード第1番
1859年(26歳)	ピアノ協奏曲第1番
1873年(40歳)	ハイドンの主題による変奏曲
1876年(43歳)	交響曲第1番 19年の歳月をかけての完成であった。
1877年(44歳)	交響曲第2番 南オーストリアのペルチャツハに避暑のため滞りして作曲。ブラームスは「ここにはメロディがたくさん飛び交っている」と語ったという。チャイコフスキー「白鳥の湖」もこの年の初演。
1878年(45歳)	ヴァイオリン協奏曲
1880年(47歳)	悲劇的序曲 大学祝典序曲と対照的で対のように作曲。ブラームスはそれぞれを「泣きの序曲」「笑いの序曲」と呼んだ。また悲劇的序曲は特定の悲劇を題材にしたものではないと述べている。
1881年(48歳)	ピアノ協奏曲第2番
1883年(50歳)	交響曲第3番
1885年(52歳)	交響曲第4番
1887年(54歳)	ヴァイオリン協奏曲をささげた親友ヨアヒムとの一時的な不仲を解消するために、構想中の交響曲5番から変更し、ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲を作曲。最後の管弦楽曲。
1889年(56歳)	「ハンガリー舞曲第1番」を蓄音機に録音。自身の老いを自覚する。これが原因か、翌年には作曲を断念し、遺書を書く。
1891年(58歳)	クラリネット三重奏曲 クラリネット五重奏曲 クラリネット奏者ミュールフェルトとの出会いにより作曲を再開する。
1896年(62歳)	オルガンのための11のコラール前奏曲 ブラームス最後の作。 5月クララ・シューマン死去。ブラームスも夏頃に体調を崩す。
1897年(63歳)	4月3日 肝臓がんにて死去

アメリカの使節ペリーが来航し、浦賀で開国を要求する。

日本では西南戦争 エジソンが蓄音機を発明

日本では小学唱歌の制定。「シャーロックホームズ」の相棒ワトソンが参加したという設定の第2次アフガン戦争はこの年。

八幡製鉄所ができる